

<進路便りは保護者の人にも見せて下さい>

## 進路調査の結果

スタディーサポートによって行われた進路希望調査の結果は、以下の通りです。それぞれの夢の実現に向けて、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

進路について未定の人、迷っている人もたくさんいるようですね。進路決定は「自分探し」の作業です。たくさんの人とのコミュニケーション、情報収集を通して「自分はどんな人間になりたいのか」「どんな方面に進むべきなのか」を模索してほしいと思います。

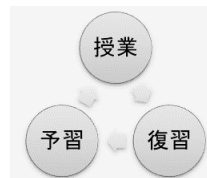
	大学	短大	専門学校	就職	その他	未定
1年生	64.9	1.1	10.9	0.7	0	21.5
2年生	80.5	2.2	10.1	0	0.7	8.2
3年生	81.9	1.9	14.9	1.2	0	0

(%)

## 学習計画は授業を中心とした予習・復習のトライアングルで！

当たり前のことですが、高校生活の中心は勉強です。毎回の授業を大切にすることができなければ学力の向上などありえません。本格的な受験勉強を始める際にも、基礎ができていなければ成績の伸びは期待できません。日々の授業と家庭学習という地道な毎日の積み重ねが学力の基礎になります。予習をして授業を有意義なものにし、さらに復習をすることで理解の定着をはかりましょう。

時々、受験科目と関係ないからと偏った教科の勉強ばかりする人を見受けられます。しかし、一見関係ないように見える事柄もすべてが繋がっています。得意・不得意はあるかもしれませんが、全ての教科・科目にしっかりと取り組むことが基礎学力の育成にはとても大切です。



## 進路の手引き、進路指導室を活用しよう

本日の進路ホームルームで、今年度の『進路の手引き』を配布しました。様々な情報が記載されていますが、特に読んで欲しいのは先輩の合格体験記とメッセージです。実体験に基づいたアドバイスは、皆さんが進路を決定していく上での大きな手助けになると思います。『進路の手引き』を開き、家庭でも今後の進路について話し合ってみてください。また、進路指導室を大いに利用してください。進路相談だけでなく、各大学の過去問、資料等の貸し出しも行っています。気軽に来室してください。場所は2号館1階です。

## 日本学生支援機構の予約奨学金について

4月27日に希望者に向けて説明会を行いました。今年度の校内スケジュールは次の表のとおりです。第3回は申し込み期間が短く、また、スカラネット入力の時期が期末考査と被りますので、第1回、第2回で申し込むようにしてください。

	第1回申し込み	第2回申し込み	第3回申し込み
申請書類一式を提出	5/11（水）締切	6/10（金）締切	7/1（金）締切
不備がなければスカラネット入力	5/31（火）締切	6/30（木）締切	7/11（月）までに
申請書類再提出	6/1（水）締切	7/1（金）締切	7/12（火）までに
結果通知の時期	10月下旬の予定	11月下旬の予定	12月下旬の予定

説明会の内容はYouTubeにもアップしています。まずは動画の内容を確認し、提出書類の説明を読み込んで書類を整えましょう。わからないことがあれば進路指導室まで質問にきてください。

## 看護希望者説明会

4月15日（金）放課後、3年生看護志望者に看護系受験サポーターの先生をお迎えし、説明会を実施しました。看護師になるための心構えと適性、それに向かってしなければならぬこと、職業人としてのコミュ

ニケーションとは何か、面接や小論文の対応等について1時間程度熱心に話していただきました。覚悟を持ってがんばろうとモチベーションを上げた人が多かったようです。参加25名。

## 志望理由書書き方講座

4月22日（金）放課後、外部講師を招いて志望理由書書き方講座を実施しました。125名の生徒が参加し、志望理由書を書く目的や書き方などについてのレクチャーを受けました。志望理由書を書くためには、自分自身をよく知り、相手（学校や会社）の事を調べ、自分がいかに合致しているかということ、情熱をもって伝える必要がある、というお話でした。説明を受けた後は各自で準備を始め、志望理由書を書き始めました。連休明けに原稿を提出し、中間試験の最終日に2回目の講座で添削・説明を受ける予定です。

## スタディーサポートの結果が出ました！

スタディーサポートは、一般的な模試とは異なり、「土台」となる学力の定着度を測るため、各時期に押さえて欲しい基礎的な問題をメインに出題しています。1年生にとっては最初の実力テストとなりましたが、学年順位だけに注目するのではなく、学力と学習習慣の両方のバランスを見てほしいと思います。仮に今回のテストの結果が良くても、基本的な学習習慣・学習方法が身につけていなければ、今後の学力の伸びは期待できません。逆に、今回の結果が芳しくなくても、学習習慣・学習方法が身につけていれば、これから伸びていく可能性が高いと言えます。スタディーサポートの結果から自分の足りない点や今後伸ばしていきたいところを見つけ、改善していけば、しっかりとした学力がついていくことでしょう。こつこつと頑張っていきましょう！！



## 3年講評

2年次と比べて、学習時間が増えています。受験生としてのスタートを良い形で切れている人が多いことがわかります。71期生（3年）の平日の家庭学習時間（自宅内・自宅外をあわせたもの）は、平均1時間29分、休日2時間23分となっています。参考値と比べると平日は38分、休日は1時間34分少ないようですが、平日に4時間以上勉強している人が8.5%、休日に4時間以上勉強している人が27.1%います。受験勉強を順調に始めた人が多いことがわかります。全体の54.6%の161人が学力、学習のバランスがとれている順調な滑り出しを見せています。学力GTZの数値に満足できなかった人もいますが、学力は学習習慣によって変わってきます。焦ることなく努力を続けてください。しかし、中にはまだうまくスタートを切れずに焦っている人もいます。1年後の自分の姿を思い浮かべながら、気持ちを強く持って勉強しましょう。勉強がうまくいくかどうかのポイントは、時間の管理がうまくできるか、どれだけ勉強に時間が割けるかです。「質より量」という言葉もありますが、あくまである程度以上の勉強時間を取った上での話であることを理解しておいてください。3年生なら平日最低3時間、一般的には4時間以上が受験界の常識です。学習時間の確保が急務です。

- ・志望校が決定している生徒70.5%。でも、受験勉強がうまく進まず焦っている生徒36.9%。受験勉強はマラソンと同じです。焦らず驕らず自分を信じて一步一步進んでいきましょう。
- ・進路実現に向けた勉強の仕方がわからない—34.2%、具体的な進路が決められない—13.9%、担任の先生や教科の先生そして進路に相談に来てください。進路の実現に向けて一刻も早く態勢を整えていきましょう。

## 受験勉強を始めていますか？

### 【自分で勉強に取り組む時間が重要】

みなさんの中には、すでに塾に通い受験勉強を始めている人も多いと思います。ただ、注意すべきことは、塾や個別指導塾に行ったから、学力が上がるわけではないということです。塾での勉強を否定するつもりはありません。学校の授業であれ、塾の講座であれ、受けっぱなしで力がつくわけではないということです。講義を受けて分かったつもりでいても、実際の問題にあたらしたら、解けない。そんな経験はありませんか。しっかりと教科書・参考書や講義の内容を理解し、自分の中で消化し、問題を実際に解いてみる。その上で、なぜ間違えたのか、なぜこれが正しいのかを自分で納得いくまで検証していく作業が大切です。その過程で力がついていきます。それには、自分だけで勉強に取り組む時間が必要なのです。

## 【計画的に学習する大切さ】

平日 4～5 時間（7 時起床、12 時就寝が基本。睡眠時間は 6 時間から 7 時間を確保）土日 10 時間の学習時間を目標にしたいです。但し、時間が長ければいいわけではありません。この時間より短くても、毎日、必ず集中して机に向う時間をつくり、やると決めたことをしっかりとこなすことが大切です。良い習慣が身につくには 66 日間かかるそうです。今から始めたとして、ちょうど、1 学期末考査の最終日ごろには、勉強の習慣がついているはずですよ。そうすれば、短縮期間・夏休みを有効に使えるようになります。最初は、勉強することが苦痛かもしれません。勉強しないと落ち着かない、勉強することが楽しいと思えるようになったら、こっちのものです。

人はそれぞれ勉強のスタイルが違いますが、受験勉強には時間の縛りがあります。例えば共通テストであれば、2023 年 1 月 14 日がゴールです。その日までにとりあえず学力を伸ばせるかが結果を分けます。世の中には不平等なことがたくさんありますが、時間だけは平等です。その時間をどのように過ごすか、しっかり計画をたてて取り組んでください。

## 【計画の骨子】

- ① 夏休みが終わるまでに基礎を固める。例えば数学であれば、教科書や学校の問題集の問題を全部しっかりやり直して穴がないようにするなどです。基礎ができていないのに、入試問題に取り組んでも、解けるはずがありません。基礎ができていないのに、難問にばかり取り組んで失敗した先輩もたくさんいます。特に国数英には時間がかかります。英語は文系理系を問わず、合否を分ける鍵なので、しっかりと取り組んでください。
- ② 秋から入試問題レベルの問題に取り組む。入試問題は難問ばかりではありません。教科書をしっかり理解していればできるはずの問題が多くを占めています。ここで点を落としていては、合格には繋がりません。もし、基本的な問題でつまづいていたら、もう一度基礎に戻ってやり直す。これが大切です。特に英語は単語だけで満足するのではなく、長文を毎日読むことが大切です。
- ③ 模試をペースメーカーにする。今後月に 1 回のペースで模試を受けてください。受験後すぐに、自己採点・やり直しをすること。約 1 カ月後、結果が届きます。その時にもう一度やり直してみてください。この 1 ヶ月の力の伸びがわかるはずですよ。そして自分の弱点をしっかりと見極めて、穴を潰す勉強をしてください。冬には今まで受けた模試を全てもう一度やり直しましょう。模試をやり直すことで全範囲を総復習することになります。判定だけを見て、喜んだり、落ち込んだりするだけではもったいない限りです。もう一つ気をつけて欲しいのは、判定に振り回されないこと。判定が悪くて落ち込むことも必要ありませんが、たまたま判定が良かったことで、気を抜いてしまい、追い込みの時期に頑張れずに、残念な結果になった先輩もめずらしくありません。

## 【共通テストを受験する】

国公立大学だけでなく、私立大学を志望している人も、共通テストはできるだけ受験しましょう。一年上の先輩も、共通テストをうまく利用し結果に繋がった人も少なからずいます。しっかりと受験計画を立て、大学ごとの対策をとることがより重要となりますが、滑り止めの大学の過去問まで解いて対策をとることは大変です。共通テストを受験しておけば、共通テストで滑り止め大学を確保できる可能性もあります。

## 【2 年講評】

今回の結果を分析すると、2 点挙げることができます。

(1) 登美丘高校 2 年生の平均学習時間は、全国平均より 1 時間少ない

平日、家庭学習がほとんどできていない人が増えています。1, 2 年生で全国平均並みに勉強している人と、全くしない人では、3 年生になったとき約 1000 時間もの差がついています。努力せずに、結果を得ることはありえません。入試は、競争です。自分の思う進路を実現するためには、人より努力することが大切です。

(2) 学習習慣と成績には正の相関がある。

当たり前ですが、学習習慣が定着している人ほど、成績が伸びている傾向が顕著になってきています。繰り返しますが、3 年は全員が頑張ります。今年が、勝負です。意識を変えてください。登美丘高校を卒業していた先輩たちも口を揃えて言うのは、2 年生から勉強する姿勢をつくることの重要性です。

また気持ちに関する質問から「頑張って成績を伸ばしたい」という割合が前回と比べて低くなっています。一方で、仕方ないから…、嫌だけど…勉強をするという人の割合は増えています。自分の目的（進路）が決ま

れば、その目的に対して頑張る意欲がわくはずですよ。必然的に、勉強に対しても意欲が出てくるはずですよ。進路に関する悩みについては、早い段階で先生に相談してクリアにしておきましょう。

## 【1 年講評】

今回のスタディーサポートは、中学校で学んだことが定着しているかどうかの確認と、高校生として学習をスタートするための習慣ができていくかどうかの把握をねらいとしています。73 期生全体としては、学習習慣 G T Z は B 2（標準レベル）、学力結果 G T Z は B 2（国公立・中堅私立大学挑戦レベル）という結果でした。毎日 2 時間以上勉強しているという人が 39.1%、特に休日は 4 時間以上勉強している人が 31.8% いる一方で、自宅で平日ほとんど勉強しない人が 22.6%、休日ほとんどしない人が 16.8% と心配な数字も表れています。家庭学習時間のめやすは平日は一般的に「学年+1 時間」と言われています。部活動等で忙しい人こそ、授業を集中して聞き早く理解を深め、通学時間やすき間の時間をうまく利用して勉強する習慣をつけていきましょう。

今回の実力テストはあくまでも 4 月 12 日時点での学習を反映したものです。「これからいかに過ごしていくか」が最も大切なことです。まずは 5 月 19 日からの中間考査に向かって計画的に取り組み、ひとつひとつ積み上げていってください。

## ～ 2022 年度入試を振り返って（全国概況）～

2022 年度入試では、昨年度に引き続き受験生の安全志向が継続し、指定校推薦入試や総合型選抜など早期に合格が決まる入試に人気が集まりました。しかし、一方で、既卒生の減少、受験生の安全志向を好材料とらえた受験生が難関私立大学や国公立大学に強気の受験をするという二極化も見られました。

私立大学の入試については、数年前に受験生を苦しめた「私立大学の定員厳格化」による難化は落ち着きました。中堅私立大学の公募制推薦、一般選抜の倍率は全体的に低下しました。また、関関同立、産近甲龍などの難関私立大学に人気は戻ってきていますが、同時に合格者数も増やしており、適度な入試が行われました。そのなかで、今年度新設の近畿大学情報学部が志望者数を集め、公募制推薦 24.2 倍、前期 A 日程 13.7 倍、前期 B 日程 10 倍と高倍率になり、大きな注目を集めました。

国公立大学の入試については共通テストの数学、理科が大きく難化したことから二極化が進みました。京都大学など難関国公立大学では共通テストの平均点が下がり個別試験勝負になったことを好機とらえた強気な出願傾向が見られた一方で、共通テストで得点が伸びず出願を断念した受験生も多く、中堅国公立大学などで出願数を減らした大学も多くありました。

さて、2022 年度入試で 2 年目を迎えた共通テストですが、文系 56%（前年 61%）、理系 57%（前年 64%）と過去最低の平均点となりました。なかでも数学 I A、数学 II B、日本史 B、そして前年平均点が高かった生物の難化が顕著でした。共通テストは実施前から「平均点 5 割をめざす」と言われていましたし、「思考力・表現力・判断力」を問うために複数の資料を読み解かせたり、理系科目でも長い問題文を読ませたりする問題傾向は続きますので、来年度も大幅に易化することはないと予想されます。しかし一見すると見たこともないような複合的な問題であっても、よく読んでみると問われている内容は基本事項であることも多いです。教科書レベルの知識・技能を「もれなく」身に付けること、読み解くための「読解力」を身に付けること、問題形式に慣れて得点力を上げることが対策として有効だと考えます。

本校の 70 期生のなかにも、模試で E 判定が続いても第 1 志望を貫き勉強を続け、合格を勝ち取った先輩がたくさんいました。みなさんも一般選抜（後期）まで頑張り続けられれば、おのずと道は開けてきます。登美丘高校の教員は、皆さんが希望の進路を実現できるようにしっかりと応援していきます。まずは、自分の目標をはっきり定め、目標を実現するためにすべきことを考え、計画をたて、実行していきましょう。

模試を受験しましょう。3 年生は 5 月 1 日の全統共通テスト模試を受けた人も多いと思いますが、今の時点では、判定よりも、自分の弱点を見つけることを目的としましょう。点数だけにこだわらず、それぞれの答えが、なぜ間違いなのか・なぜ正しいのかをしっかりと確認していきましょう。

★進路室を活用しよう！！昼休みと放課後、進路関係で悩み事や相談などあれば来て下さい。